



昨年末、コロナウイルス感染症の猛威が一息ついているときに、今しかない！というタイミングで子供を連れて東京に出かけました。特にどこに行こうとは決めずに飛行機に乗りながら子供たちと行き先を話し合いました。すると息子が「靖國神社に行きたい！」と言ってきました。“おとしごろ”なので渋谷や原宿などの言葉が出てくるといきや、意外な場所が出てきたことに成長を感じることができ、うれしい気持ちになりました。あとで詳しく聞いたら有名ユーチューバーの動画で見ていて、以前から行ってみたいと思っていたそうです。私自身は靖國神社へ何度か参拝していましたが子供たちを連れて行ったことはありませんでしたので羽田空港に到着し次第、靖國神社へ直行しました。

厳正な雰囲気息子なりにいろいろ感じていたらしく、参道を思いふけながら歩いていました。残念だったのは内苑にある「遊就館」が閉まっていたことです。遊就館は御祭神の貴重な手紙をはじめ、さまざまな遺品、戦争に関する史資料などが展示されており、特に息子と同年代の出陣された方々の手紙は見せたかったです。

時計を見ると14時を過ぎていたので、昼食をとることにしました。私は前から行って見たかった外苑休憩所にある「八千代食堂」に行こうと提案しました。この食堂は知覧の特攻の母と慕われた鳥濱トメさんがやっていた富屋食堂の親子丼を再現しているそうで、とても美味しいと聞いてました。子供たちも親子丼は大好きなので賛成してくれると思いきや、娘が「新大久保の有名なホットドックを食べに行きたい！」と言ってきました。娘は最近、K-POPにハマっていて、東京行きが決まってからというもの、行きたいお店をリストアップしていたそうで、ここぞとばかりに希望を伝えてきました。息子の希望を聞いたので娘の希望は無下にできず、息子も賛成したので、八千代食堂に後ろ髪を引かれる思いで靖國神社をあとにしました。

新大久保に着いたとたん、人混みを苦手とする私は立ち止まってしまいました。靖國神社から移動してきた私は同じ都内とは思えない光景に驚きしかありませんでした。しかし、子供たちはそんな私にかまうことなく、人混みに突っ込んでいきました。目標（行きたいお店）があると人間は強い力を発揮するものですね(笑)。やっとの思いで到着したお店のホットドックは確かに美味しかったです。

東京での全日程を終え、疲れ果てた帰りの飛行機では終始熟睡していました。息子をふと見てみると座席の前にあるモニターで飛行機を操縦している感覚が味わえる画面をいつになく真剣に見つめていました。やっぱりまだまだ子供です(笑)。

